

修理報告書

松阪市 松浦武四郎記念館 所蔵
重要文化財 松浦武四郎関係資料 のうち

白衣観音図	(書画・器物類 37)	1 幅
渋団扇帖 三	(書画・器物類 66)	1 帖

令和 4 年度 (2022 年度)

株式会社 坂田墨珠堂

I. 修理の概要

重要文化財 松浦武四郎関係資料のうち、白衣観音図（書画・器物類 37）1 幅、渋団扇帖 三（書画・器物類 66）1 帖の保存修理を施工した。

なお、本修理事業は文化庁文化財第一課（歴史資料部門）指導のもと、作品の形態や状況を考慮して過剰な処置を行わずオリジナルの保存に努めた修理を行った。また、使用する諸材料については、素性が明らか且つ可逆性に留意したものをを用いた。

1. 工期

令和 4 年 4 月 1 日（着工）

令和 5 年 3 月 24 日（竣工）

2. 施工者

株式会社 坂田墨珠堂

代表取締役 坂田さとこ

修理担当 白衣観音図：嘉門一彦

渋団扇帖三：佐味義之

3. 施工場所

株式会社 坂田墨珠堂 第 2 修理工房

滋賀県大津市小野 1144 番地の 1

II. 現状の報告

1. 名称・品質形状

重要文化財 松浦武四郎関係資料のうち

品質	資料名	形状	員数	指定番号
絹本墨画	白衣観音図	掛幅装	1 幅	書画・器物類 37
紙本着彩	渋団扇帖 三	折本装	1 帖（渋団扇 43 点）	書画・器物類 66

2. 指定年月日

平成 20 年 7 月 10 日

3. 所蔵

松阪市 松浦武四郎記念館

III. 資料別報告

指定番号	資料名	員数
書画・器物類 37	白衣観音図	1 幅



修理前



修理後

1. 損傷状況等

- ・本紙上部数か所に本紙料絹と同質の四角に切られた絹が嵌められていた。
- ・画面全体に白カビの付着がみられた。
- ・強い横折れが生じており、一部は亀裂への進行がみられた。
- ・旧折れ伏せが施されており、そのあたり線が表に透けて見えていた。
- ・虫損が散見された。
- ・一部に料紙による旧補修がみられ、補彩が施されていた。
- ・表装裂と本紙の伸縮が合わず、本紙に波打ちが生じていた。
- ・向かって右側の風帯が外れていた。
- ・墨及び、落款の膠着力低下が懸念された。
- ・裏打紙の糊浮きがみられた。

2. 修理仕様

- ・旧裏打紙を全て除去し、新たな補修と裏打を施す本格解体修理を行った。
- ・一文字・中廻しの表装裂は経年の汚れを洗浄した後再使用し、損傷の著しい上下の表装裂は新調し、修理後は修理前同様に三段表具に仕立てた。
- ・裏打紙および再使用に耐えない旧補修材は全て取り替えた。
- ・軸首は再使用し、座環、軸木、発装、紐は新調した。
- ・桐製の保存箱、太巻添軸および包裂を新調し、納入した。
- ・中性紙製外箱を新調し、新旧保存箱を一括収納した。

3. 工法

1. 調査

- ・写真撮影および本紙の状態調査を実施し、記録作成を行った。

2. 洗浄（乾式クリーニング）

- ・本紙に堆積した埃や虫糞、白カビなどの付着物を刷毛やピンセットを用いて除去した。

3. 剥落止め

- ・墨および落款の膠着力が低下していると認められる箇所について、膠水溶液（濃度1～2%）を適宜回数塗布し剥落止めを行った。

4. 解体

- ・旧表装部材（軸木・発装・座環・紐等）を取り外し、表装を解体した。

5. 旧裏打紙の除去

- ・本紙裏面に濾過水¹⁾を用いて最小限の加湿を行い、旧肌裏紙以外の旧裏打紙を除去した。

6. 洗浄（湿式クリーニング）

- ・本紙に濾過水を噴霧し、溶け出た水溶性の汚れを下に敷いた吸水紙に吸着させて除去した。

7. 旧肌裏紙の除去

- ・湿式肌上法により旧肌裏紙を全て除去した。

8. 補修

- ・本紙料絹織組織に類似した絵絹に、電子線を照射して人工劣化させた補修用電子線劣化絹（以下、補修絹と表記する）を作製し、料絹欠失個所に補填した。補修絹の劣化度は本紙料絹の状態を考慮して調整した。
- ・補修絹は欠失形に整形し、欠失部に嵌め込むように補填した。

9. 肌裏打ち（1層目の裏打ち）

- ・楮紙（薄美濃紙）と小麦澱粉糊²⁾を用いて、本紙に肌裏打ちを施した。

10. 増裏打ち（2層目の裏打ち）

- ・胡粉入り楮紙（美晒紙）と古糊³⁾を用いて、本紙に増裏打ちを施した。

11. 折伏せ

- ・2～3 mm中に切断した楮紙の帯を折損に添わせて接着して補強した。

12. 表装裂の調整

- ・上下を新調し、一文字と中廻しはクリーニングを施し再使用した。
- ・必要箇所に補修を施した後、本紙と同様に裏打ちを施し、厚みを整えた。

13. 付け廻し

- ・本紙に表装裂を接合した。

14. 中裏打ち（3層目の裏打ち）

- ・胡粉入り楮紙（美晒紙）と古糊を用いて中裏打ちを施した。

15. 総裏打ち（4層目の裏打ち）

- ・白土入り楮紙（宇陀紙）と古糊を用いて総裏打ちを施した後、仮張りにかけて表裏を十分に乾燥させた。

16. 仕上げ

- ・新調した座環、軸木、発装、紐を取り付け、掛幅装に仕立てた。
- ・軸首は汚れを拭き取り再使用した。

17. 保存処置

- ・正絹羽二重包裂・桐製太巻添軸・桐製屋郎箱を新調した。
- ・本修理において取り外した旧表装部材は旧箱に収め中性紙保存箱に収納した。

18. 報告書の作成

- ・使用した材料・処置内容等を記載した修理報告書を作成した。

【語句説明】

- 1) 濾過水 : 粒状活性炭及びポリプロピレン材フィルター（1 μ 径）にて濾過した水
- 2) 小麦澱粉糊 : 小麦を原料とする澱粉糊（新糊/生麩糊とも言う）
- 3) 古糊 : 小麦澱粉糊を冷暗所にて約 10 年貯蔵した糊。接着力が弱く、柔軟な表装仕立てに不可欠な糊

4.使用材料の詳細

用途	名称（素材）	産地・製作等	加工
補修絹	修復用電子線劣化絹	京都府： 廣信織物有限会社	電子線照射： 国宝修理装演師連盟
肌裏紙	楮紙 (薄美濃紙)	岐阜県：鈴木竹久	染色：矢車 媒染：木灰
増裏紙	胡粉入り楮紙 (美栖紙)	奈良県：上窪良二	染色：矢車 媒染：木灰
折伏せ	楮紙 (薄美濃紙)	岐阜県：鈴木竹久	—
中裏紙	胡粉入り楮紙 (美栖紙)	奈良県：上窪良二	—
総裏紙	土入り楮紙 (宇陀紙)	奈良県：福西弘行	染色：矢車 媒染：木灰
表装材料	表装裂（上下）	京都府：鳥居株式会社	染色：矢車 媒染：木灰
	上巻絹	京都府／鳥居株式会社	
鍔	銅地漆箔木瓜型	京都府：鋳屋(有)松田	—
発装	杉白太材 銀杏型	京都府：速水商店	—
軸木	杉白太材	京都府：速水商店	—
紐	正絹啄木組紐	京都府：速水商店	—
接着（補修/ 肌裏/折伏 せ）	小麦澱粉糊	（原料購入先） 京都府：中村製糊	坂田墨珠堂
接着（増裏/ 中裏/総裏）	古糊	京都府：中村製糊	小麦澱粉糊を坂田墨 珠堂にて加工
接着補助	フノリ	五島列島：九平フノリ	—
保存箱	桐製屋郎箱	京都府：黒田工房	—
	木口詰桐太巻添軸	京都府：黒田工房	—
	中性紙製被せ箱	東京都：ラーソン・ジュ ール・ニッポン株式会社	
包裂	正絹包裂	京都府：速水商店	滋賀／都千本

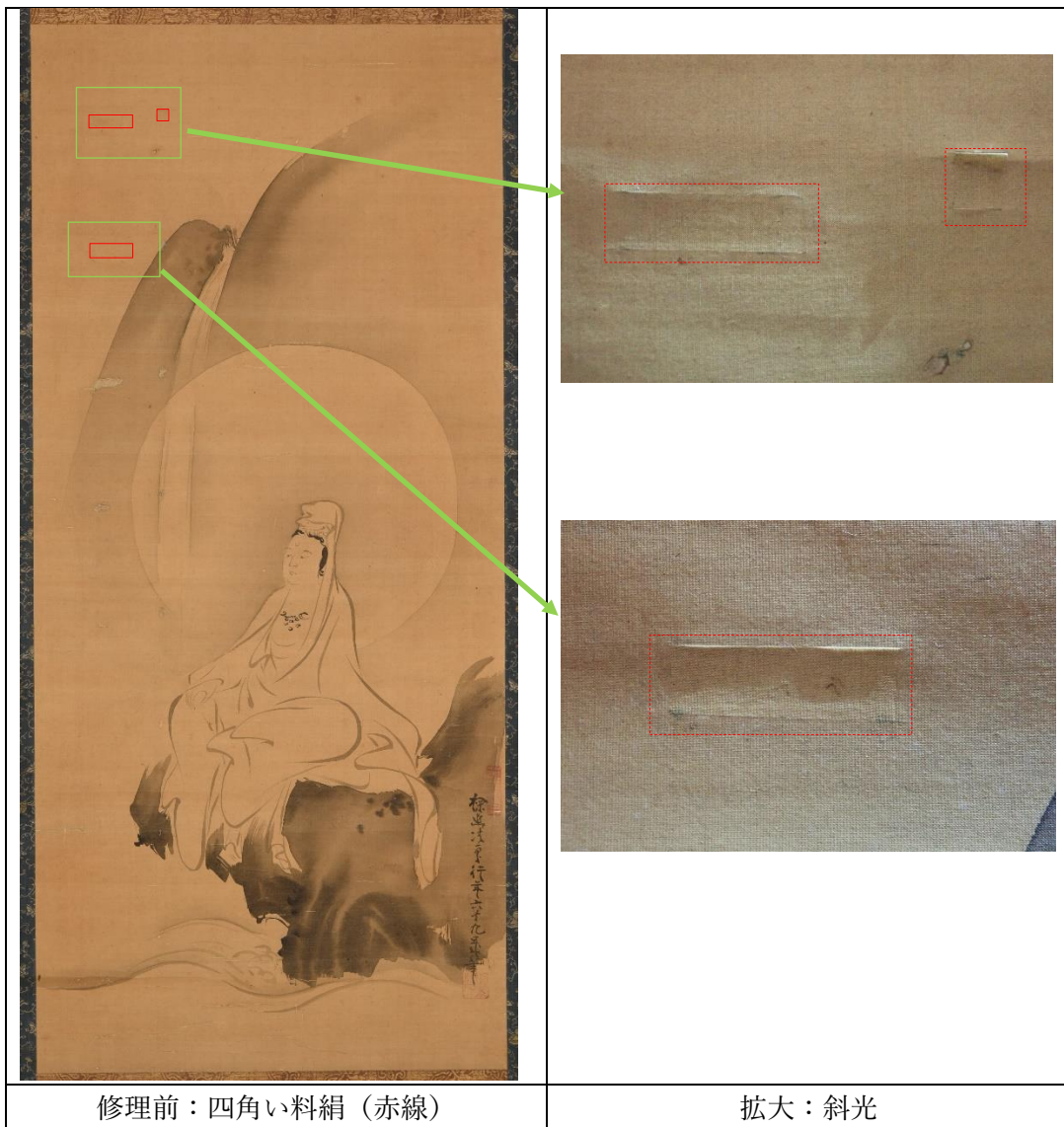
5. 特記事項

旧補修絹（四角い料絹）の処置について

・画面上部を中心に四角い料絹が嵌めこまれていた。四角い料絹は本紙料絹と非常に似ており、一見してわからないほど馴染んでいた。絹目の詰み具合や質感などから四角の料絹は本紙料絹と極めて同質に近いと判断された。

なお、絹が四角く嵌めこまれた状態になっていることについて、推測として、本紙上部は元々大きく欠失していたと考えられ、その欠失部分を補填するにあたり、本紙の一部の料絹を切り取った後に、欠失箇所に切り取った絹を重ね同時に切り抜き、補填した可能性が考えられる。

また、四角い料絹と本紙料絹の境目が極めて精緻に処置されており、この四角い料絹を取り換えるとかえって質感に違和感が生じる可能性が考えられた。これらのことを踏まえ協議検討の結果、四角い料絹は再使用することとなった。



保存収納形態等

- ・ 正絹羽二重包裂・桐製太巻添軸・桐製屋郎箱・中性紙製外箱を新調した。
- ・ 本修理において取り外した旧表装部材は元箱に収めたうえ中性紙保存箱に収納した。



新調した桐製太巻添軸・桐製屋郎箱



新調した四方帙



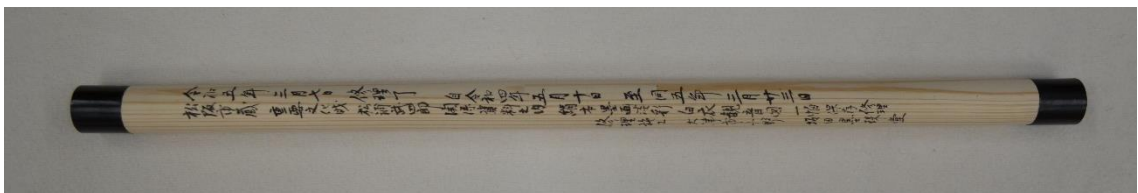
元箱と旧表装部材



中性紙製保存箱

新たな修理銘の記録

- ・ 新調した軸木（軸首は再使用）に修理銘を下記のとおり墨書した。



令和五年三月七日修理了 自令和四年五月十日 至同五年三月二十三日
松阪市蔵 重要文化財 松浦武四郎関係資料之内 絹本墨画 白衣観音図 一幅
保存修理
施工 滋賀県大津市小野 株式会社 坂田墨珠堂

6.修理前後の記録

(全体寸法に上軸下軸は含まず)

基本情報／形態等		
品質	絹本墨画	
形状	掛幅装 (三段表具)	
	修理前 (縦×横)	修理後 (縦×横)
全体寸法 (cm)	180.5×57.0	180.2×57.0
本紙寸法 (cm)	102.2×46.1	102.2×46.1
軸長 (cm)	63.3	63.1
軸径 (cm)	3.0	3.0
一文字	金地菱畳二重蔓牡丹紋金襴	金地菱畳二重蔓牡丹紋金襴(再使用)
中廻し	藍地蝶貝唐草紋緞子	藍地蝶貝唐草紋緞子(再使用)
上下	茶地絁	茶地絁 (新調)
風袋	藍地蝶貝唐草紋緞子	藍地蝶貝唐草紋緞子(再使用)
軸首	黒檀：頭切型	黒檀：頭切型 (再使用)
座・環	菊菱型	木瓜型 (新調)
発装	木製 銀杏型	杉白太材 銀杏型 (新調)
軸木	木製	杉白太材 (新調)
啄木	組紐	正絹啄木組紐 (新調)
袱紗	—	正絹羽二重包裂 (新調)
保存箱	屋郎箱	桐製太卷添軸・桐製屋郎箱 (新調)
料絹情報		
本紙料絹	経：31 中 75 枚 2 入	緯：31 中 170 枚 2 抜
補修絹	経：28 中 70 枚 2 入	緯：28 中 2 抜 140 横

7. 修理前後写真



修理前 折れ



修理後 (斜光)



修理前 暴れ



修理後



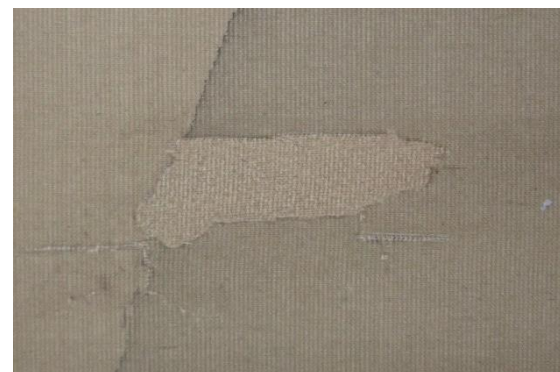
修理前 白カビ



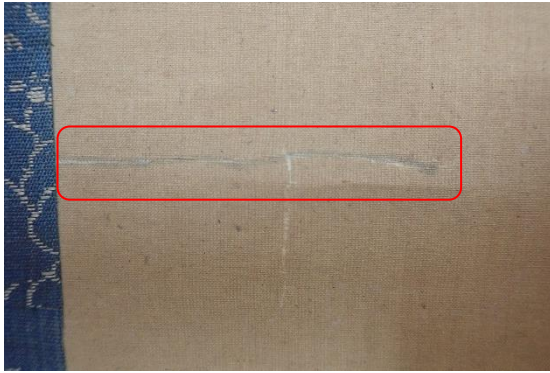
修理後



修理前 料絹欠失



修理後



修理前 旧折れ伏せの当たり線 (赤線囲)



修理後



修理前 料絹の裂け (赤線囲)



修理後



修理前 糊浮き

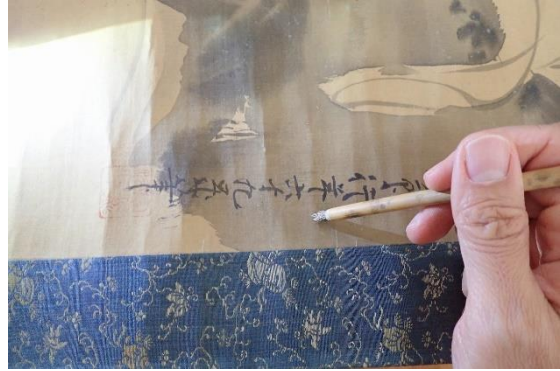


修理後

8. 工程写真 (抜粹)



1 解体 軸取外し



2 乾式クリーニング



3 旧総裏紙除去



4 旧中裏紙除去



5 表装裂取外し



6 表装裂湿式クリーニング



7 旧増裏紙除去



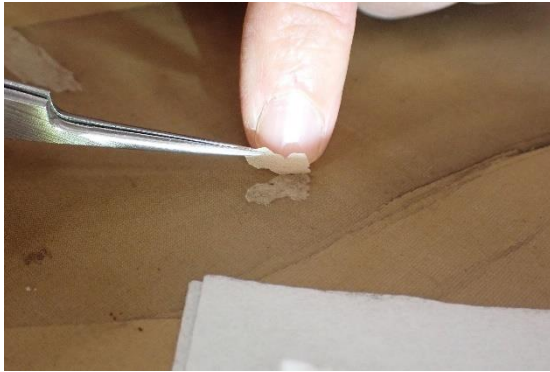
8 剥落止め



9 本紙湿式クリーニング



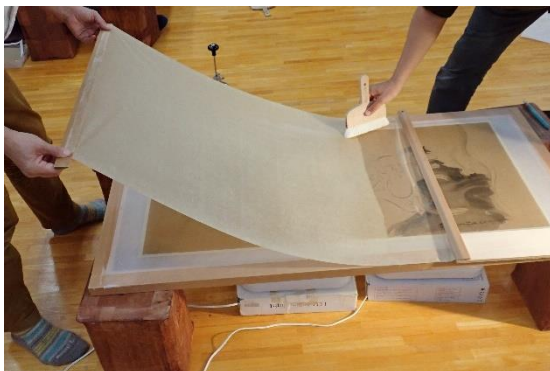
10 本紙湿式クリーニング (染み出た汚れ)



11 補絹



12 旧肌裏紙除去



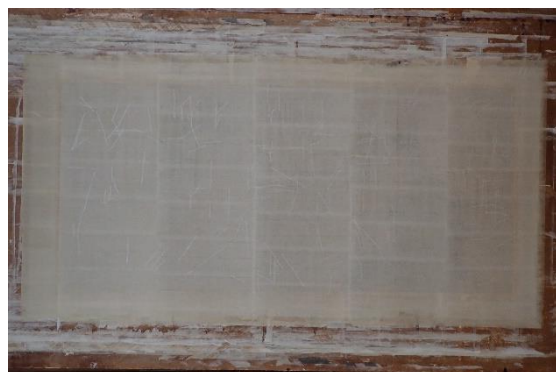
13 肌裏打ち



14 増裏打ち



15 折れ伏せ入れ



16 折れ伏せ入れ後 (裏面)



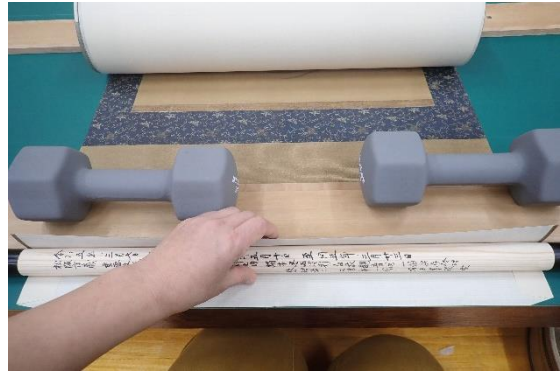
17 補彩



18 付け廻し



19 総裏打ち



20 仕上げ

指定番号	資料名	頁数
書画・器物類 66	渋団扇帖 三	1 帖



修理前 斜光線撮影



修理後 斜光線撮影

左：第3紙・右：第2紙

『渋団扇帖』は松浦武四郎の蒐集品である渋団扇 147 枚を 3 帖の折本に貼り込んだものである。3 帖のうち、令和 4 年度は『渋団扇帖 三』（渋団扇 43 点）の保存修理を施工した。

1. 渋団扇帖の構造

- ・タケ繊維を主体とする紙を貼り合わせた台紙を蛇腹に折畳み、団扇 43 枚が袋貼りで貼り込まれている。
- ・表紙は丹地無地裂で金箔押し題箋と番号札が貼付されている。表紙の触感は柔らかくクッション性があるが、これは表紙芯紙の構造によるものである。反故の具引き紙（唐紙など）を接着せずに数枚重ねたものを紙で包んで芯紙としており、重なった唐紙の隙間に適度な空気層ができることで柔らかな風合いを生んでいる。
- ・団扇が貼り込まれた台紙は、紙質検査の結果から竹紙を厚く貼り合わせた紙と判断される。渋団扇は蛇腹に折り畳まれた台紙の片面側（表側）に貼り込まれており、台紙裏面は雲母引きの装飾が施されている。
- ・団扇の地塗りは柿渋と思われるが、顔料の使用も認められる。

2. 損傷状況

〔渋団扇〕

- ・経年による色材の膠着力低下が認められ、特に白色顔料においては剥落や絵具層の亀裂が進行していた。
- ・白色のカビ痕や虫の死骸等の付着物による汚損が認められた。
- ・台紙および張り込まれた団扇は全体的に暴れが生じていた。なかでも、団扇 12 点（第 31 紙、第 32 紙、第 33 紙、第 34 紙、第 35 紙、第 36 紙、第 37 紙、第 38 紙、第 39 紙、第 40 紙、第 41 紙、第 52 紙）については暴れが顕著であった。
- ・団扇料紙の継目、貼り印譜、台紙との接合部等に糊離れが認められた。
- ・折本に仕立てられる前の虫損（折本に仕立てた際に穴は裏打で塞がれている）、折本になってからの虫損（台紙まで到達した穴がある）、など 2 種類の虫損が確認された。後者の虫損は折本を扱う際に引っかかる状況であった。
- ・折本形式のため、向かい合う団扇どうしが擦れて色移りしたものがみられた。また、各台紙の朱書きにも色移りがみられた。

〔表紙、台紙〕

- ・裂表紙は四隅から裂のほつれが進行しており、全体的な摩耗もみられた。また、裂の色が退色し、フォクシングが生じていた。
- ・台紙は経年による湿気等の影響で暴れが生じた箇所が多くみられた。
- ・金箔地の題箋に剥がれがみられた。表紙右角の貼紙には摩耗がみられた。

3. 修理仕様

- ・基本的に団扇は台紙から解体せずに、乾式クリーニング、絵具の剥落止め、糊離れ箇所の接着、暴れが生じた団扇および台紙のフラットニングを主体とする処置を施した。
- ・保存箱は再使用した。

3. 工法

1. 調査

- ・本紙の構造や損傷状況を調査し、記録撮影（正面光撮影、斜光、透過光撮影、赤外線撮影など）を行った。

2. 洗浄（乾式クリーニング）

- ・本紙に堆積した微塵やカビ痕などを柔らかい刷毛やピンセット等を用いて丁寧に除去した。乾式クリーニングにより除去した粉塵は同時にミュージアムクリーナーで吸引し、本紙への再付着を防いだ。

3. 剥落止め

- ・膠着力の低下が認められた絵具、墨、砂絵について、膠水溶液（1～3%重量濃度）を適宜回数塗布し剥落止めを行った。剥落止め後は、適度に加圧しながら十分に乾燥させた。

4. 糊差し

- ・団扇料紙にある継目や団扇と台紙の接合部に剥がれが生じていた箇所に糊差しを行った。

5. 補修

- ・虫損が認められた団扇は必要最小限に台紙から捲り上げ、虫損箇所の裏側から補修紙（楮紙）を補填した。補修紙は団扇地色に類似した色調に染色して用いた。
- ・虫損が生じた台紙は、基本的には台紙裏面から補修紙（楮紙）を補填した。但し、虫損が団扇と台紙に跨っている場合は、団扇を捲り上げた際に台紙の表側（団扇を貼り戻すと補修の裏側が隠れる）から補修を施した。
- ・表紙裂は補修を施して再使用する予定であったが、修理中の調査で裂の解れや劣化が著しい様子が確認されたため、文化庁、三重県、松坂市、所蔵館との協議の結果、類似の裂を用いて新調することとなった。新調した丹地無地裂は薄美濃紙で一層の裏打ちを施した後、元の表紙芯紙を使用して折本に貼り込んだ。
- ・旧題箋および番号札は旧表紙から取り外し、旧題箋は繋ぎ目の糊差しおよび極薄楮紙による裏打補強を施した。その後、旧題箋および番号札は新調した表紙に貼り込んだ。

6. フラットニング

- ・団扇や台紙に暴れがみられたため、全体を通して押しをかけて暴れを整えた。押しをかける際には、本紙を加湿する必要があるが、団扇に過度の水分が入ると団扇骨痕の凹凸が薄れるなどの影響があることが懸念されたため、必要最小限の加湿に留める必要があった。
そのため、湿らせた吸水紙の上に不織布を敷き、その上に渋団扇帖を展開して置き、吸水紙から蒸発する水分を用いて台紙の裏側が湿気る程度（団扇には殆ど湿気が入らない程度）に加湿した。その後、乾いた吸水紙と平らな板で加湿した部分を挟み、10 kgの重りをのせて十分に乾燥させて暴れを整えた。
- ・団扇前43点のうち12点に強い暴れが生じており、これらは台紙から取り外して個別に押しをかけて貼り戻した。

7. 保存処置

- ・修理後の渋団扇帖は新調した楮紙タトウに包み、既存の保存箱に収納した。
- ・今回の修理で取り外した旧表紙裂は、薄美濃紙で裏打を施して平らに整え、楮紙のタトウ紙に包んで返却した。

8. 報告書の作成

- ・処置内容、使用材料等を記載した修理報告書を作成した。

4.使用材料の詳細



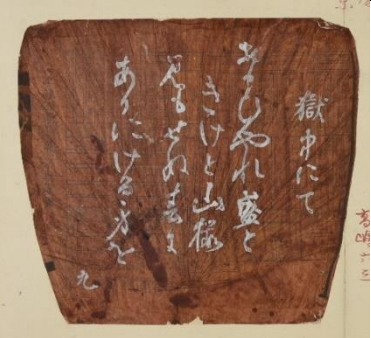

用途	名称（素材）	産地・製作等	加工
表紙裂	丹地平織絹	京都府：廣信織物	染色：矢車、茜 媒染：木灰
表紙裂の裏打ち	薄美濃紙（楮紙）	岐阜県：鈴木竹久	染色：矢車 媒染：炭酸カリウム
題箋の裏打ち	極薄楮紙	高知県： ひだか和紙有限公司	—
補修紙（団扇）	薄美濃紙（楮紙）	岐阜県：鈴木竹久	染色：矢車、茜 媒染：木灰
補修紙（台紙）	楮紙	島根県：西田和紙工房	染色：矢車 媒染：木灰
接着 （補修、裏打）	小麦澱粉糊	（原料購入先） 京都府：中村製糊	坂田墨珠堂
絵具等の剥落止め	膠	兵庫県： 株式会社サンオリエント	1～3%重量濃度の 水溶液に加工して使 用
接着補助	フノリ	京都府：吉田商店	小麦澱粉糊に添加 剥落止めに使用する 膠水溶液に添加

5. 特記事項

1. 団扇料紙の赤外線撮影について（反故紙にある墨書の記録）

団扇料紙の殆どは反故紙が用いられており墨書があることから、修理中において全ての団扇の透過赤外線撮影を行った。（透過赤外線撮影画像は報告書添付の DVD に収録）

透過赤外線撮影画像（抜粋）


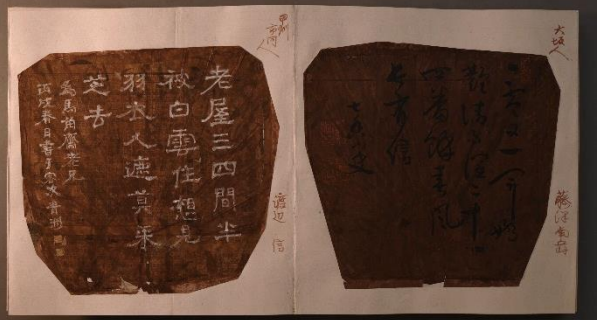
	
第 5 紙 通常光撮影	第 5 紙 透過赤外線撮影
	
第 25 紙 通常光撮影	第 25 紙 透過赤外線撮影

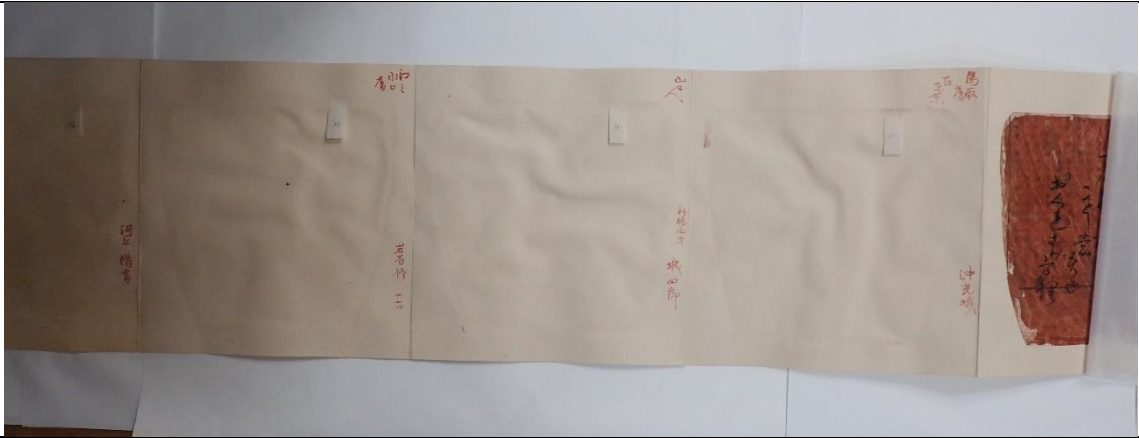
2. 台紙から取り外してフラットニングを施した団扇

著しい暴れが生じていた下記の 12 点の団扇は、台紙から取り外して個別にフラットニングを施して、台紙に貼り戻した。

第 31 紙、第 32 紙、第 33 紙、第 34 紙、第 35 紙、第 36 紙、第 37 紙、第 38 紙、
第 39 紙、第 40 紙、第 41 紙、第 52 紙

台紙から取り外してフラットニングを施した団扇の処置前後（画像抜粋）

	
修理前 左：第 3 紙・右：第 2 紙（斜光線撮影）	修理後 左：第 3 紙・右：第 2 紙（斜光線撮影）



修理中 団扇を外した後に観察された台紙の暴れ



修理中 取り外した団扇 12点 (フラットニング施工後)



修理中 台紙のフラットニング

6. 修理前後の記録

基本情報／形態等		
品質	紙本着彩	
形状	折本装（団扇から剥がした書面類を台紙貼り）	
	修理前	修理後
全体寸法（cm）	縦 27.3×横 25.7×厚 4.0	縦 27.3×横 25.7×厚 4.0
保存箱	既存の保存箱に収納した	
袱紗	薄葉紙に包まれていた	楮紙四方帙に包んで保存箱に収納した
本紙料紙		
団扇の寸法（cm）	 <p>A : 22.0 B : 24.1 C : 16.1 (参考として第 1 紙を計測)</p>	
紙質	洪団扇：未測定 折本台紙：竹繊維	

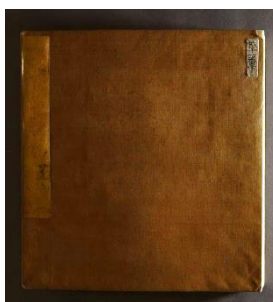
7. 修理前後写真



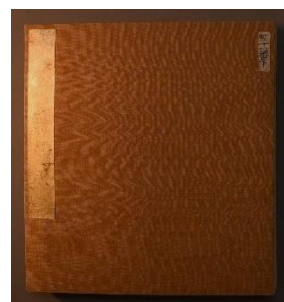
修理前 表紙



修理後 表紙



修理前 表紙（斜光）



修理後 表紙（斜光）



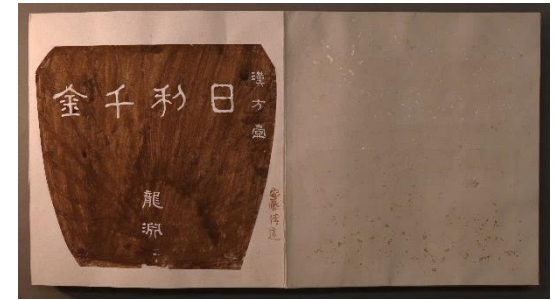
修理前 左：第1紙・右：見返し



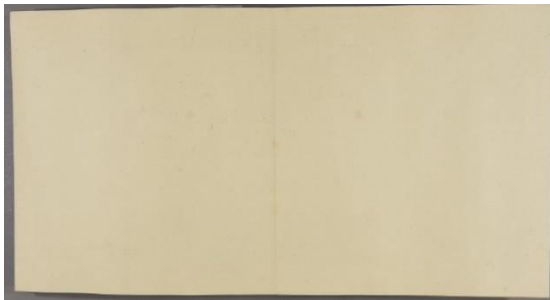
修理後 左：第1紙・右：見返し



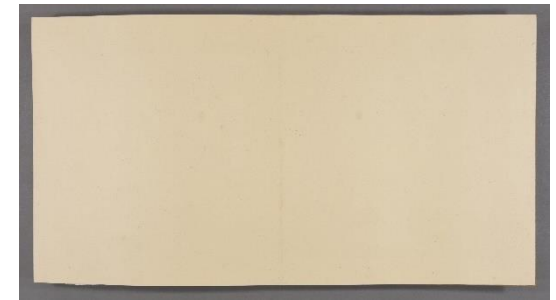
修理前 左：第1紙・右：見返し（斜光）



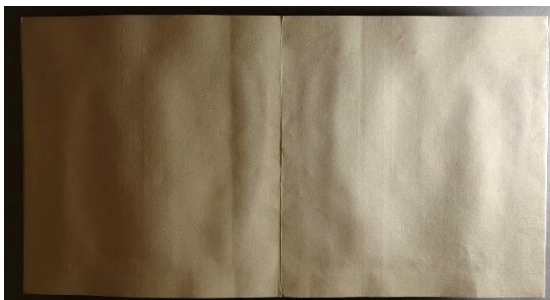
修理後 左：第1紙・右：見返し（斜光）



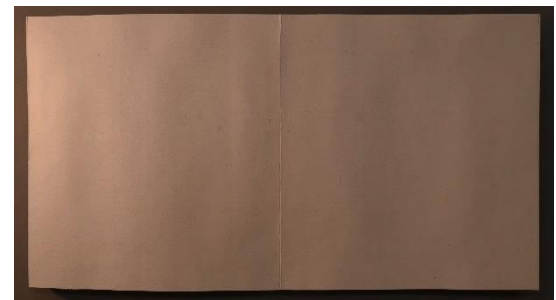
修理前 左：第3紙・右：第2紙



修理後 左：第3紙・右：第2紙



修理前 左：第3紙・右：第2紙（斜光）



修理後 左：第3紙・右：第2紙（斜光）



修理前 左：第5紙・右：第4紙



修理後 左：第5紙・右：第4紙



修理前 左：第5紙・右：第4紙（斜光）



修理後 左：第5紙・右：第4紙（斜光）



修理前 左：第7紙・右：第6紙



修理後 左：第7紙・右：第6紙



修理前 左：第7紙・右：第6紙（斜光）



修理後 左：第7紙・右：第6紙（斜光）



修理前 左：第9紙・右：第8紙



修理後 左：第9紙・右：第8紙



修理前 左：第9紙・右：第8紙（斜光）



修理後 左：第9紙・右：第8紙（斜光）



修理前 左：第11紙・右：第10紙



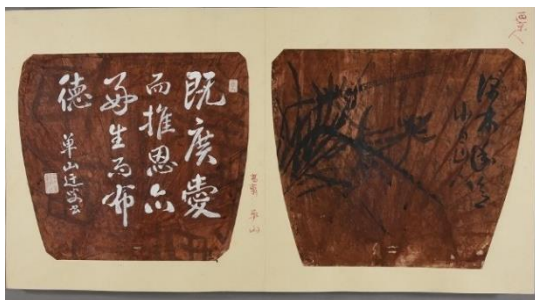
修理後 左：第11紙・右：第10紙



修理前 左：第11紙・右：第10紙 (斜光)



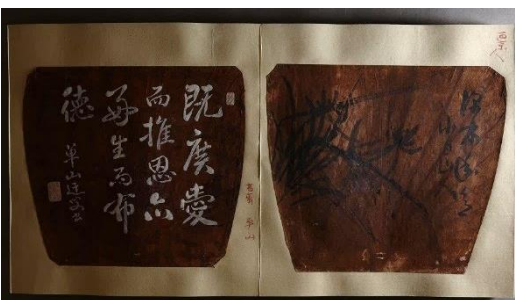
修理後 左：第11紙・右：第10紙 (斜光)



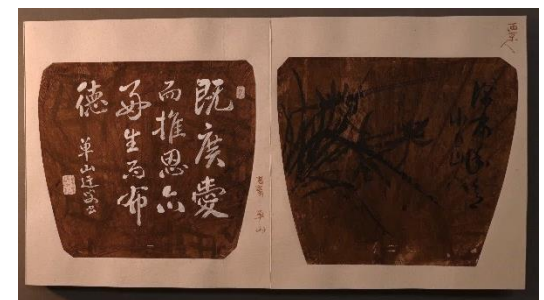
修理前 左：第13紙・右：第12紙



修理後 左：第13紙・右：第12紙



修理前 左：第13紙・右：第12紙 (斜光)



修理後 左：第13紙・右：第12紙 (斜光)



修理前 左：第15紙・右：第14紙



修理後 左：第15紙・右：第14紙



修理前 左：第15紙・右：第14紙（斜光）



修理後 左：第15紙・右：第14紙（斜光）



修理前 左：第17紙・右：第16紙



修理後 左：第17紙・右：第16紙



修理前 左：第17紙・右：第16紙（斜光）



修理後 左：第17紙・右：第16紙（斜光）



修理前 左：第19紙・右：第18紙



修理後 左：第19紙・右：第18紙



修理前 左：第19紙・右：第18紙（斜光）



修理後 左：第19紙・右：第18紙（斜光）



修理前 左：21紙・右：第20紙



修理後 左：21紙・右：第20紙



修理前 左：21紙・右：第20紙 (斜光)



修理後 左：21紙・右：第20紙 (斜光)



修理前 左：第23紙・右：第22紙



修理後 左：第23紙・右：第22紙



修理前 左：第23紙・右：第22紙 (斜光)



修理後 左：第23紙・右：第22紙 (斜光)



修理前 左：第25紙・右：第24紙



修理後 左：第25紙・右：第24紙



修理前 左：第25紙・右：第24紙（斜光）



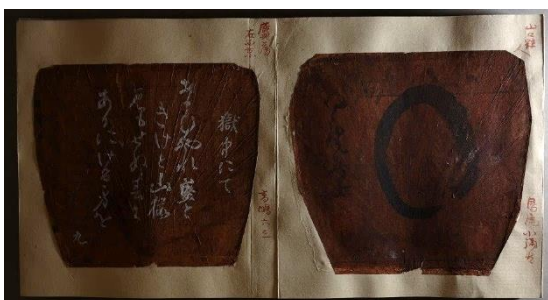
修理後 左：第25紙・右：第24紙（斜光）



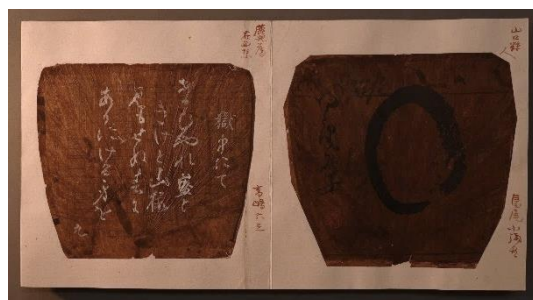
修理前 左：第27紙・右：第26紙



修理後 左：第27紙・右：第26紙



修理前 左：第27紙・右：第26紙（斜光）



修理後 左：第27紙・右：第26紙（斜光）



修理前 左：第29紙・右：第28紙



修理後 左：第29紙・右：第28紙



修理前 左：第29紙・右：第28紙（斜光）



修理後 左：第29紙・右：第28紙（斜光）



修理前 左：第31紙・右：第30紙



修理後 左：第31紙・右：第30紙



修理前 左：第31紙・右：第30紙 (斜光)



修理後 左：第31紙・右：第30紙 (斜光)



修理前 左：第33紙・右：第32紙



修理後 左：第33紙・右：第32紙



修理前 左：第33紙・右：第32紙 (斜光)



修理後 左：第33紙・右：第32紙 (斜光)



修理前 左：第35紙・右：第34紙



修理後 左：第35紙・右：第34紙



修理前 左：第35紙・右：第34紙（斜光）



修理後 左：第35紙・右：第34紙（斜光）



修理前 左：第37紙・右：第36紙



修理後 左：第37紙・右：第36紙



修理前 左：第37紙・右：第36紙（斜光）



修理後 左：第37紙・右：第36紙（斜光）



修理前 左：第39紙・右：第38紙



修理後 左：第39紙・右：第38紙



修理前 左：第39紙・右：第38紙（斜光）



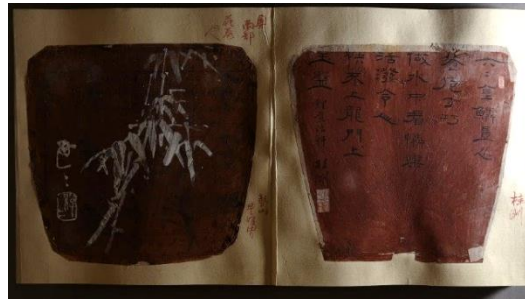
修理後 左：第39紙・右：第38紙（斜光）



修理前 左：第41紙・右：第40紙



修理後 左：第41紙・右：第40紙



修理前 左：第41紙・右：第40紙 (斜光)



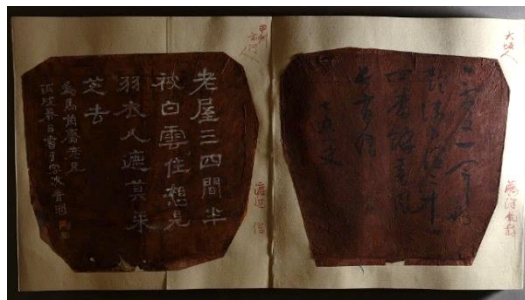
修理後 左：第41紙・右：第40紙 (斜光)



修理前 左：第43紙・右：第42紙



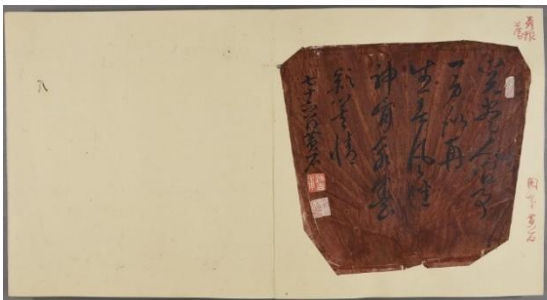
修理後 左：第43紙・右：第42紙



修理前 左：第43紙・右：第42紙 (斜光)



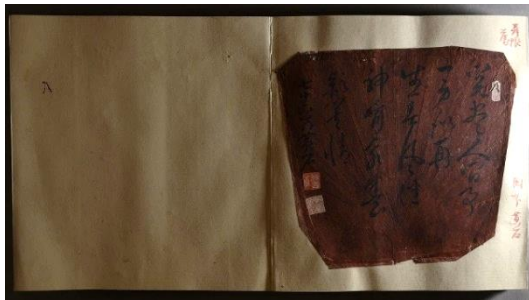
修理後 左：第43紙・右：第42紙 (斜光)



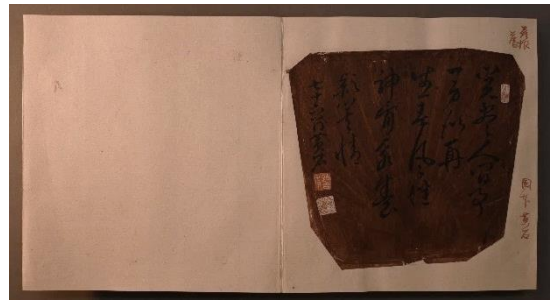
修理前 左：第45紙・右：第44紙



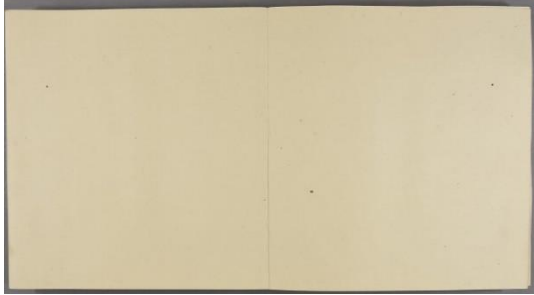
修理後 左：第45紙・右：第44紙



修理前 左：第 45 紙・右：第 44 紙 (斜光)



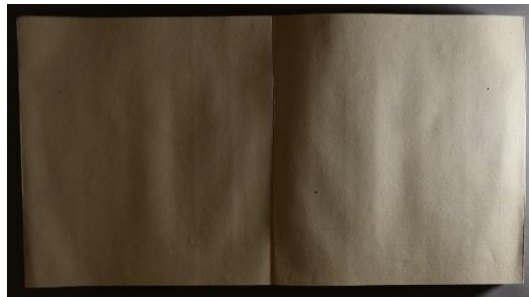
修理後 左：第 45 紙・右：第 44 紙 (斜光)



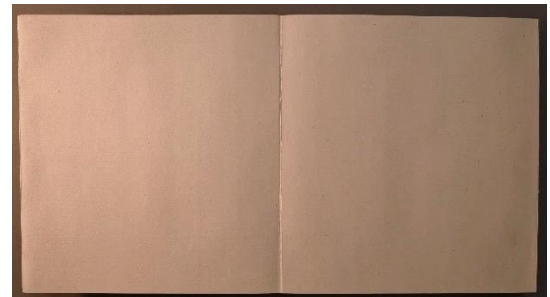
修理前 左：第 47 紙・右：第 46 紙



修理後 左：第 47 紙・右：第 46 紙



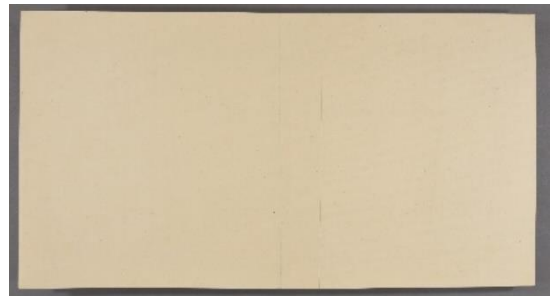
修理前 左：第 47 紙・右：第 46 紙 (斜光)



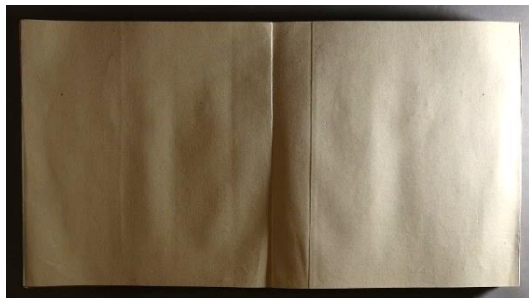
修理後 左：第 47 紙・右：第 46 紙 (斜光)



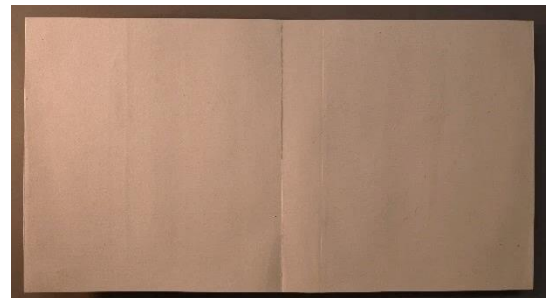
修理前 左：第 49 紙・右：第 48 紙



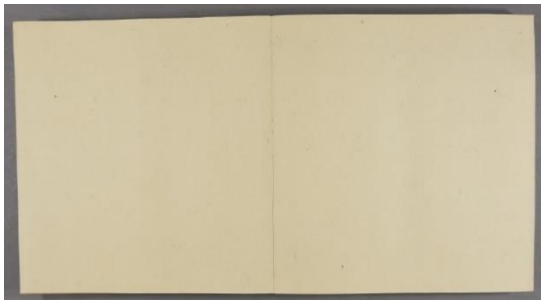
修理後 左：第 49 紙・右：第 48 紙



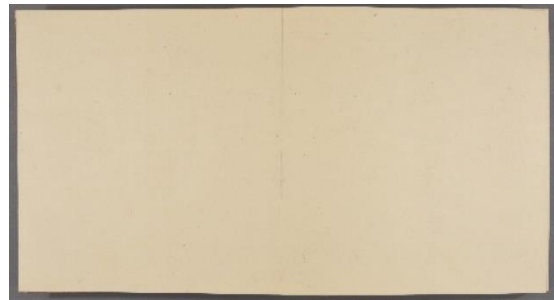
修理前 左：第 49 紙・右：第 48 紙 (斜光)



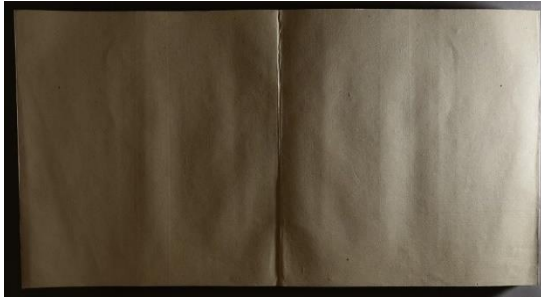
修理後 左：第 49 紙・右：第 48 紙 (斜光)



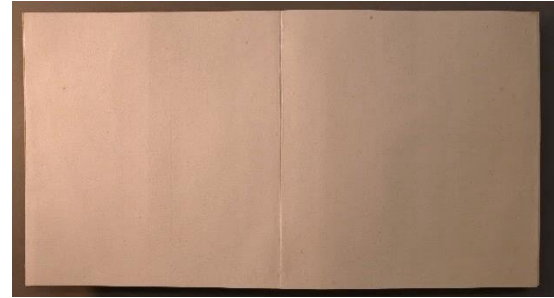
修理前 左：第51紙・右：第50紙



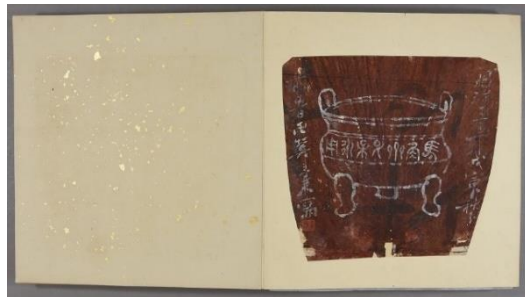
修理後 左：第51紙・右：第50紙



修理前 左：第51紙・右：第50紙（斜光）



修理後 左：第51紙・右：第50紙（斜光）



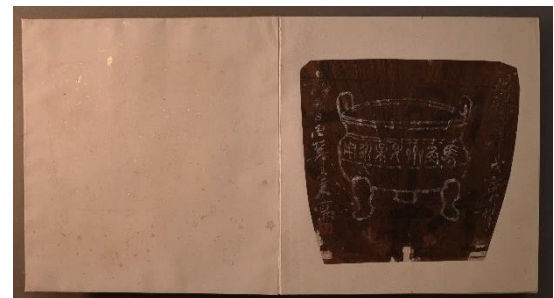
修理前 左：裏見返し・右：第52紙



修理後 左：裏見返し・右：第52紙



修理前 左：裏見返し・右：第52紙（斜光）



修理後 左：裏見返し・右：第52紙（斜光）



修理前 裏表紙



修理後 裏表紙



修理前 裏表紙 (斜光)



修理後 裏表紙 (斜光)

修理前後 部分比較



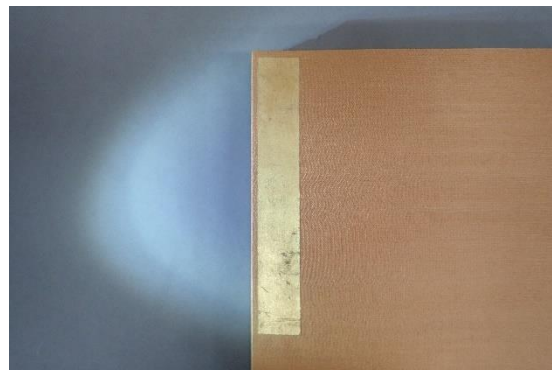
修理前 表紙 部分
表紙裂 角の欠失 シミ等の汚損



修理後 第1紙 部分
表紙裂は経年劣化で再使用に耐えないと判断されたため、類似の裂にて新調した。



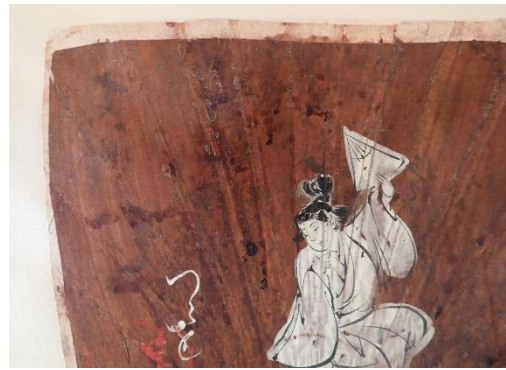
修理前 表紙 部分
題箋の糊離れ



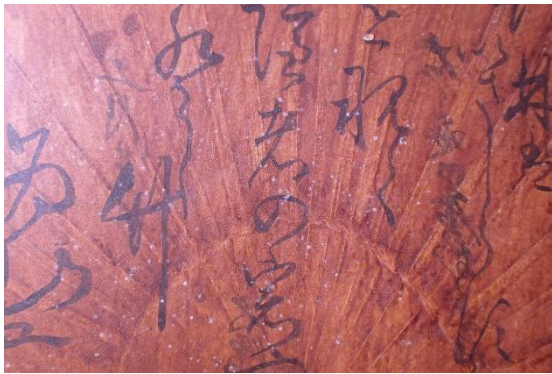
修理後 第4紙 部分
題箋を外し、裏打ち紙を取り替えた後、修理を終えた折本の元の位置に貼り戻した。



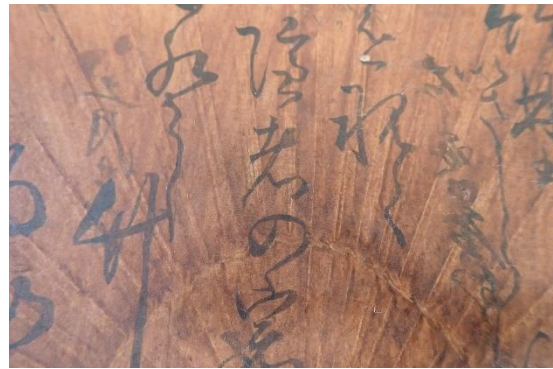
修理前 第39紙 部分
白いカビの痕



修理後 第27紙 部分
刷毛を使用してカビ痕を丹念に除去した。除去したカビ等の粉塵はミュージアムクリーナーに吸引して再付着を防いだ。



修理前 第14紙 部分
白いカビの痕



修理後 第14紙 部分
刷毛を使用してカビ痕を丹念に除去した。除去したカビ等の粉塵はミュージアムクリーナーに吸引して再付着を防いだ。



修理前 第12紙 部分
虫損



修理後 第12紙 部分
虫損付近の団扇の糊代を部分的に剥し、台紙側、本紙裏面の両方に補修紙を補填した後、団扇の糊代を貼り戻した。



修理前 第14紙 部分
絵具の剥離・剥落



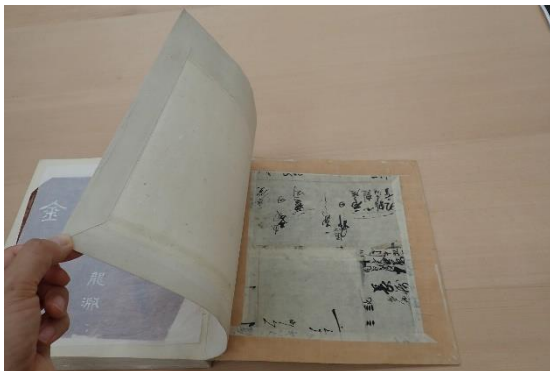
修理後 第14紙 部分
膠水溶液（1.5%重量濃度）を塗布する剥落止めを施し、軽度の押しをかけることで安定させた。



修理前 第39紙 部分
絵具の剥離・剥落



修理後 第39紙 部分
膠水溶液（1.5%重量濃度）を塗布する剥落止めを施し、軽度の押しをかけることで安定させた。



修理前 見返し 部分
台紙からの糊離れ



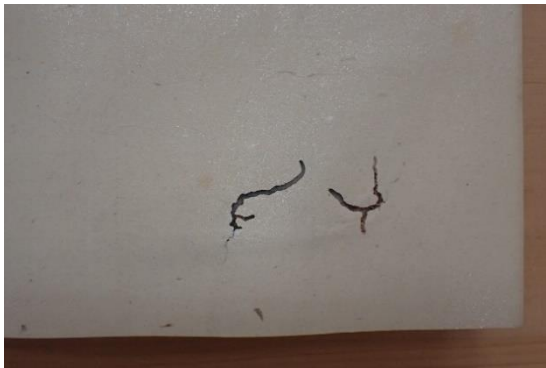
修理後 第41紙 部分
表紙の裂を新調し、修理を終えた折本に貼り戻した。



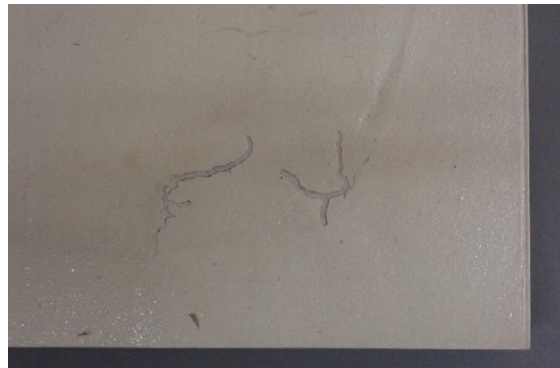
修理前 第42紙 部分
貼り印譜にまたがる虫損



修理中 第42紙 部分
貼り印譜、団扇、台紙のそれぞれに補修を
施した。



修理前 第12紙 台紙裏面
虫損



修理後 第12紙 台紙裏面
補修紙を補填した



修理前 第25紙 部分
付着物（虫の死骸）



修理後 第25紙 部分
付着物はピンセットを使用して除去した

8. 工程写真 (抜粋)



1 ドライクリーニング

刷毛による除去、粉塵はミュージアムクリ
ーナーにて吸引



2-1 ドライクリーニング

小筆を使用した付着物の除去

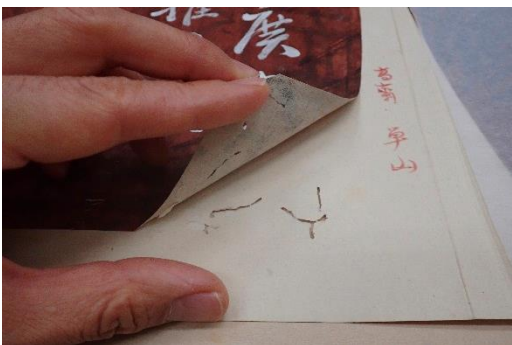


2-2 絵具の剥落止め(白色絵具)



3-1 虫損補修

団扇糊代を一部剥がす様子



3-2 虫損補修

糊代の一部を剥がした後の様子

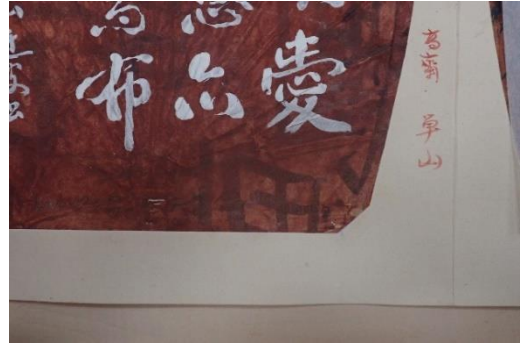


3-3 虫損補修

台紙虫損箇所への補修紙補填



3-4 虫損補修
団扇虫損箇所への補修紙補填



3-5 虫損補修
補修後



4 剥離箇所への糊差し



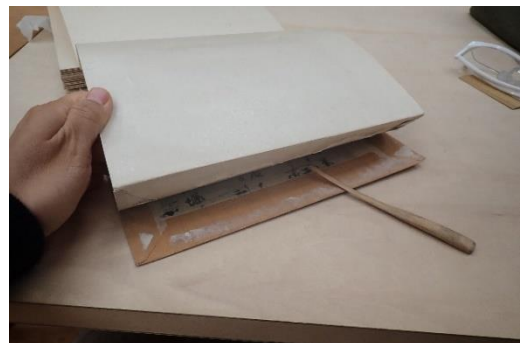
5 取り外した暴れが著しい団扇
画像は第31紙を外した様子



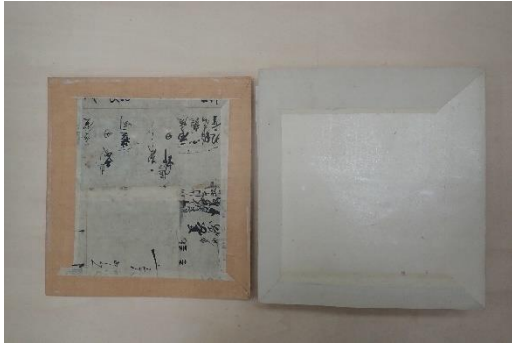
6 団扇のフラットニング
団扇に微量の加湿を施し平らな板で押した



7 団扇の貼り戻し
元の位置に袋張りした



8-1 表紙取り外し
竹箆を使用して取り外した



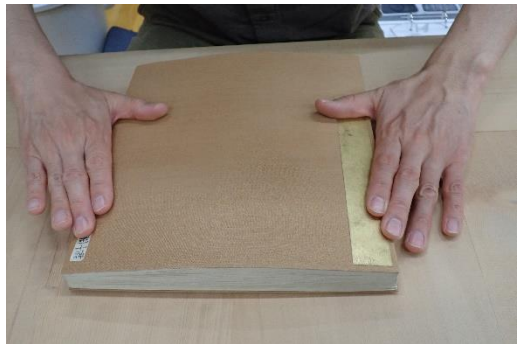
8-2 表紙の取り外し
取り外した表紙の裏面



9-1 表紙修理
新調した裂を表紙台紙に張り込む様子



9-2 表紙修理
修理した表紙



10 仕上げ
表紙の貼り込み



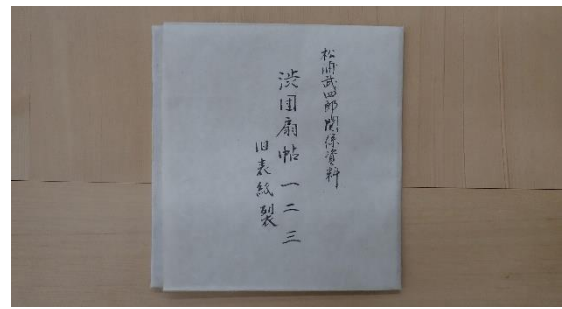
11-1 収納形態整備
楮紙タトウに包み元の木箱に収納した



11-2 収納形態整備
旧表紙は裏打し、3帖分をタトウにまとめて返却した



11-3 収納形態整備
旧表紙の裏に帖番号を墨書した札を貼り付けた



11-4 収納形態整備
旧表紙を包むタトウ

【修理施工】

株式会社 坂田墨珠堂

代表取締役 坂田さとこ

滋賀県大津市小野 1144-1

TEL:077(594)3447

FAX:077(594)3449

E-MAIL: info@bokujudo.com

Web Site: <https://www.bokujudo.com>

(報告書作成 令和 5 年 3 月 23 日)